

2009年11月9日

石炭関連分野において日中の協力関係を強化

(財)石炭エネルギーセンター

1. 財団法人石炭エネルギーセンター（JCOAL、会長：中垣 喜彦）は、昨日、北京で開催された第4回日中省エネルギー・環境総合フォーラム（主催：経済産業省、日中経済協会など）において、中国の李克強副総裁のご挨拶、日本の直嶋経済産業大臣、中国の解振華国家発展改革委員会副主任らの立会いの下、中国石炭工業協会（CNCA、会長：王顕政）と「日中の石炭関連分野における合作強化に係る覚書」を交換しました。
2. 両者はこれまでも長い交流の歴史がありますが、協力関係をより深めることにより、日中双方の企業間共同事業が促進されるとともにアジア地域の石炭安定供給・高効率石炭利用・環境保護にも寄与できるという認識で一致し、今回の覚書締結の運びとなりました。
3. 覚書においては、毎年相互交流を行うとともに、①石炭関連省エネ・廃棄物削減技術及びその設備化に係る交流、②省エネ・汚染物質削減に係る研修、③炭鉱保安・ガス利用・ボタ発電事業、④炭鉱ガス総合利用技術及びそのモデル事業、⑤石炭化工分野、において日中の協力可能性を検討していくことを確認しました。
4. 特に、炭鉱ガスについては中国最大の炭鉱災害原因であるとともに高い温室効果を持つため、効率的なガス回収により保安を確保するとともに、回収ガスを発電・燃料等に利用することでエネルギー有効利用・温暖化防止を促進することが喫緊の課題となっています。両者はまずこの問題について協力可能性の検討を進めていくことにしています。

以上